

| | |
|------------------|---|
| Title | 寄贈交換圖書雑誌目録 |
| Sub Title | |
| Author | |
| Publisher | 三田史学会 |
| Publication year | 1930 |
| Jtitle | 史学 Vol.9, No.1 (1930. 3) ,p.170- 171 |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | |
| Genre | |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19300300-0172 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

朝鮮古蹟圖譜八・九 (朝鮮總督府發行)

本圖譜八は、關野、谷井、小場、澤の諸氏により、高麗時代の工藝品の墳墓中より發見されて遺品を選び圖譜としたもの、納本に先立ち大正十二年印刷と共に大震災にて烏有に歸し、關野、小川、澤の諸氏更に資料を補選編纂し、その中陶器のみをあつめて一冊としたもの、印刷精巧、よく高麗時代の藝術の粹を傳へてをる。圖版百六十九中七葉は美麗なる彩色版である。新羅時代の繼續なる素焼を初めとして、宋の影響を受けてなりたる青瓷白瓷、高麗人の創意になりし青瓷象嵌、また彼此の手法を折衷せる繪高麗下繪、搔落手、その他天目釉、雜釉、練上手等或ひは瑩潤或ひは華麗當時の優秀な技術をしるばせて余蘊ない。

圖譜九は陶器以外の金屬器玉石器に屬するものを集む。圖版百四拾九葉、初めの漆塗螺鈿及描金蒲柳龍樹水禽文香箱は、手法上珍さすべきものであす。鏡には、支那鏡を模倣せるものが多く漢式、唐式、宋元明式等種類に富むも要するに支那の亞流たる觀がある。三九四八號の女眞文字鏡は、言語學者に悦ばるべきもの、その外銅七、銅箸、銅製水瓶、銅壺、種々なる飾金具、合子、刀子、鉢等の小道具、鏡臺、銅印、貨幣、石硯、玉具等高麗文化の諸相を窺ふに足りる貴重な遺品を銅羅してある。新羅文化の余韻をなほ傳へ、一面宋元文化の影響を受けつゝ成育せる高麗工藝の盛觀をしるばせる好資料である。(松本信廣)

寄贈交換圖書雜誌目錄

- 明治維新史研究(史學會編纂) 史 學 會
- 薩道先生景仰錄 ぐろりあ そさえて
- 廣島嚴島關係文獻展觀目錄 廣島史學研究會
- 校定出雲國風土記 島根縣皇典講究分所
- 日英交通史料(四) 武藤 長 藏氏
- 國學概論 伊藤武雄著 (金雞文叢第一) 金 雞 學 院
- 大鹽平八郎 安岡正篤著(人物研究叢利第十) 金 雞 學 院
- 幽情集 金 雞 學 院
- 直良石時代文化研究所報告四 直良石器時代文化研究所
- 朝鮮古蹟圖譜、八、九。 朝 鮮 總 督 府
- 古蹟調査特別報告、六。 同 上
- 備後史談、六の二、三、四、五。 備後郷土史會
- 朝鮮佛教、六九、七一、七二。 朝 鮮 佛 教 社
- 江戸文學研究、二の二、三、四、五。 江戸文學研究發行所
- 風俗研究、一一七、一一八、一一九、一二〇。 風 俗 研 究 會
- 現代佛教、七〇、七一、七二、七三。 大 雄 閣
- 藝文二十の二、三、四、五。 京 都 文 學 會
- 法律時報、二の三、四。 日 本 評 論 社
- 伊豫史談、六一。 伊 豫 史 談 會

上毛及上毛人、一三四、一五四、一五六、一五七。

神社協會雜誌、二九の二、四、五。

人類學雜誌、四五の二、三、四、五。

附錄二、三。

國體科學、四九、五〇、五一、五二。

かたな、三四五、三四六、三四七、三四八。

考古學雜誌、二〇の三、四、五。

國民經濟雜誌、四八の二、三、四、五。

國史學、第二、三。

國學院雜誌、第三七の三、四、五。

九州民俗學、一の五。

紀伊史談、六。

民俗學、二の二、三、四、五。

密教研究、三六。

民俗研究、一九。

奈良文化、一八。

大谷學報、一一の一、二。

龍谷史壇、二の二。

歴史地理、五五の二、三、四。

立命館學叢、一の六。

歴史と地理、二五の三、四。

龍谷大學論叢、二八九、二九〇。

歴史教育、四の一二、五の一二。

史學雜誌、四一の二、三、四、五。

上毛郷土史研究会
神社協會
東京人類學會

國體科學聯盟本部

中央刀劍會

考古學會

神戶商業大學
商業研究所

國史學會

國學院大學

三杉莊一氏

田中敬忠氏

民俗學會

高野山大學密教研究会

日本民俗研究会

奈良文化編輯所

大谷學會

龍谷大學史學會

日本歴史地理學會

立命館大學出版部

史學地理學同友會

龍谷大學論叢社

歴史教育研究会
史學會

史林、一五の一、二。

史蹟名勝天然紀念物、五の二、三、四、五。

史前學雜誌、二の二、三。

史苑、三の五、六、四の一。

下野史談、七の二。

史學研究、一の三。

宗教と藝術、一一の二。

東洋文化、六八、六九、七〇、七一。

東洋考古、六の一。

刀劍研究、一六の二、三、四、五。

旅と傳説三の三、四、五。

土佐史談、三〇。

築紫史談、四九。

禪學研究、一二。

雜誌索引、二の七。

史學研究会

史蹟名勝天然紀念保存協會

史前學協會

立教大學史學會

下野史談會

廣島史學研究会

龍谷大學文藝部

東洋文化學會

東洋考古學會

南人社

三元社

土佐史談會

築紫史談會

臨濟宗大學禪宗研究会

雜誌索引發行所

會告

昭和五年度(第九卷)より會費壹ケ年金參圓也
に改正致し候間此儀御含み被下度候尙昨年度
(第八卷)會費未拂込の方は至急御拂込被下度
願上候

昭和五年五月

三田史學會